

吾平

名物あいら木市祭に AIRA 約 8,000 人が訪れる



1月12日・13日の2日間、吾平町麓の商店街約250mを歩行者天国にして「第14回名物あいら木市祭」が開催されました。

吾平地区の冬の風物詩として有名な木市祭は、商店街の活性化と地域振興を目的に行われているもので、通りの両側には、地元の商店街及び加工グループや、花き園芸農家など約100店舗が出店。キンカンやハッサク、ウメなどの苗木や手作り加工品が販売されたほか、太鼓演奏や歌謡ショー、お楽しみ抽選会などもあり、2日間で約8,000人が訪れました。

輝北

合同七草祝いを開催 KIHOKU



1月7日、輝北町の輝北コミュニティセンターで、新春恒例の「合同七草祝い」が開催されました。

この七草祝いは、輝北地区の小学校へ入学する子どもたちの健やかな成長を願い毎年行われているもので、華やかな衣装を身にまとった子どもたち33人が参加。当日は、保護者や来賓が見守る中、記念品贈呈やおはなしグループ「ちいさなくれよん」による絵本の読み聞かせなどが行われ、参加した保護者など全員で、子どもたちが元気で伸び伸びと成長してくれることを願いました。

鹿屋

鹿屋農業高校 太鼓部が 表敬訪問 KANOYA



1月8日、創部4年目で、出場チームのレベルが高いと称される全九州・日本太鼓ジュニアコンクールに出場した鹿屋農業高校太鼓部「魂」が市役所を表敬訪問しました。

部員全員が高校から太鼓を始めたという同部は、現在、地域の行事や福祉施設などで演奏を披露。主将の藤井さやかさんは「みんなに喜んでもらえるような太鼓演奏をしたい」と話してくれました。

鹿屋

輝北

串良

吾平

葉たぼこのたねまき



1月21日に鹿屋・吾平、串良で、1月25日には、輝北で葉たぼこの種まきが行われました。

葉たぼこの種は、非常に小さいため土と均等に混ぜてからまかれ、15日ほどで発芽します。畑に定植後、5月下旬から7月末まで収穫が行われ、1週間程度乾燥されます。種まきに参加した生産農家等は、豊作を祈りながら、心を込めてまいていました。

鹿屋

輝北

串良

吾平

子牛の初せりが行われる



1月16日から18日まで、肝属中央家畜市場で今年の子牛の初せりが行われ、3日間で約1,500頭の子牛がせりにかけられました。

配合飼料や原油の価格高騰などの影響が心配されましたが、平均落札額は464,337円と、高値でせり落とされ、関係者を安心させました。また、曾於中央家畜市場でも1月22日から25日まで、子牛の初せりが行われました。